

## ものは引き算、こころは足し算

### こころの ぽけっと

震災直後、2、3人の方から色紙をいただきました。「足るを知る」の言葉をデザインした色紙です。言葉の意味は何となくわかっていましたが、当時は忙しくしていたこともあって、それどころではなく、贈っていたいた方の想いを深く考えもせず過ぎてきたところでした。2、3年が過ぎ、気になっていたので辞書等を見て調べてみました。「富は足るを知るにあり」とあり、本当の豊かさとは満足することを知ることにある…と書いてありました。また、満足することを知っている者は豊かである…とも。つまり、避難生活は、今までの生活とは違って、正に欠乏ベースの生き方をする中で、この「足るを知る」の心を持って避難生活を乗り切った欲しいという、とても深く深い想いがあったの贈り物だった訳です。そんな折、ふとある新聞に載った14歳の中学生の記事が目に入り込んできました。「幸福とは、自ら気づくこと」の題で、こんなことが書いてありました。

「幸福とは何か」ということで辞書を引いたら「満ち足りていること」とあった。私は疑問を覚えた。人間は満ち足りることなどあるのだろうか…と。

でもふと考えてみると、戦争孤児の話聞いた時に、私の今の生活がどれ程幸せかを実感した。野宿を覚悟した時、幸いにベットで眠れることに幸せを感じた。私は気づいた。幸福とは「自分が幸福だと気づくこと」だと。持っていないものを欲する前に、自分の手の中にあるものの価値に気づくことだ。あの時は幸福だったんだと、後になって気づくことのないようにしたい…と。

中学3年生の素晴らしい感想文。幸福とは「自ら気づくことである」にしろ「足るを知る」にしろいずれも第6次計画のキャッチフレーズ「ものは引き算、こころは足し算」の考え方に通ずるものがあるような気がします。が、どうでしょうか。

令和2年7月6日 飯館村長 菅野 典雄



初めまして! 4月から3人目の地域おこし協力隊として着任しました「大槻美友」と申します。いいたて村の花や風景をモチーフにしたキャンドル作りをメインに活動しています。

村で見かけたらいつでも声をかけてください〜。  
インスタグラム→@atelier.myrtle (工房マートル)

### 今月のライター

飯館村地域おこし協力隊  
大槻 美友 さん

現在は8月開催の展示に向けて活動しています。どんな展示かは見てのお楽しみ! ぜひお越しください、お待ちしております〜!



定住交流係総出で会場となる教室のお掃除も頑張っています!

展示は8月15日(土)~30日(日)まで旧草野小学校で。観覧情報の詳細は同封のチラシでご確認を。



### 上田和昌さんの

## ラオス通信。

vol.15

### 私のラオス 上田さん編最終回

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国? 上田さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ!



上田さんは山梨県の出身。ラオス国立大学で活動する青年海外協力隊の隊員です。

「今日の夜の便で出国してください」3月20日の夕方、JICA職員からの電話で、青年海外協力隊としてラオスで活動する最後の日が訪れました。新型コロナの影響で、2年間の活動の集大成となる最後の3か月をラオスで過ごせなかったことは、複雑な気持ちもありますが、こうして何が起るか分からない環境で、健康面など大きな問題もなく任期を終えることができたことに「安心しております」。

日本とは言葉も違えば、文化も違う、赴任した当初は語学力が低く、ラオス人から電話が来るのが本当に怖かったのを今でも覚えています。実は、今回の渡航で4回目のラオスなのですが、長い間ラオスの人たちと同じ生活をする中で、これまで気づけなかったラオスの良いところを多く知ることができました。ラオスで過ごした2年間は、私にとって宝物と言えるほど、かけがえのないものとなりました。

また、活動を通して「正しさ」とは何かについて考える機会が多くあったように思います。日本の「常識・当たり前」が通用しない場面も多く出くわしました。今までの「常識・当たり前」が壊され更新されていく、こういったところに海外での活動経験の価値があるのかもしれない。新型コロナによるこの状況においても、同じことが言えるのかもしれない。「常識・当たり前」とはとらわれない柔軟な思考を、ラオスの人たち、ラオスでの活動から学びました。今後は、こうした学びを社会に還元できるように、日々努力していきたいと思っています。

これまで14回の記事を書かせていただきましたが、読んでいただいた方に、少しでもラオスの存在を身近なものに感じていただくことができていたら幸いです。貴重な機会をありがとうございました。

コープチャイライライ(本場にありがとうございしました)。ポップカンマリー(では、またどこかで)。

次回は  
新リポーターの佐野志帆さん  
を紹介します!

### ひとのうごき

(令和2年6月30日現在)

人口	今月 (前月比)
男	2668人 (-4)
女	2681人 (-6)
計	5349人 (-10)
世帯数	1835戸 (+2)

6月1日~30日までの

◆◆人口動態◆◆

転入	8人
転出	18人
出生	4人
死亡	4人

(住民基本台帳人口)

(6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載)

※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

### おくやみ

氏名	年齢	行政区
阿部 紀夫	79	佐須
西 トミエ	93	上飯樋
嶋原 フカノ	104	長泥
赤石澤 洋子	86	上飯樋
細川 富美	90	上飯樋
佐藤 由幸	65	宮内

ご冥福をお祈り申し上げます

## 職員人事異動のお知らせ

### 令和2年7月15日付人事異動

村づくり推進課長兼企画係長 三瓶 真 (旧任 村づくり推進課長)  
産業振興課主任主査兼農政第一係長 松下 義光 (旧任 村づくり推進課主任主査兼企画係長)

### 令和2年7月6日付退職

産業振興課主任主査兼農政第一係長 杉岡 誠